

施策評価調書(2年度実績)

				施策コード	Ⅲ-1-(5)	
政策体系	施策名	「知の拠点」としての大学等との連携	所管部局名	企画振興部		
	政策名	生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造	関係部局名	企画振興部、福祉保健部、商工観光労働部		
				長期総合計画頁	131	

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	地域課題解決に向けた県内外の大学等との連携の推進	県立看護科学大学の魅力づくり	県立芸術文化短期大学の魅力づくり

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する取組No.	基準値		2年度			6年度	目標達成度(%)				
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125
i 県と県内大学等の連携事業数(件)	①②③	H26	100	170	172	101.2%	190					

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i 達成	教育、産業、福祉、医療など様々な分野の地域課題解決に向け、地域活性化をテーマとした教育研究活動を行った。また、本県経済の発展を支える若年層の県内就職・定着に向けた学生に対する就職情報の発信などの事業に取り組んだ結果、目標値を達成した。		達成

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> ・県内大学等が連携して、地域課題の解決に取り組み、地域が求める人材育成のための教育プログラムを実施することで、行政や県内企業との共同研究・受諾研究は、R2年度は78件となった。 ・明治大学と県で連携協定を締結し、人材交流や学術・文化・産業等の振興に向け協力できる体制を整えた。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・看護科学大学では、看護師81名、保健師8名、助産師10名が国家試験に合格。NP（診療看護師）コース、養護教諭養成課程修了者と合わせ105名が就職した。 ・看護部長等看護管理者を対象に、東部・北部地域の個別支援（計10回・延べ66名参加）や全体研修会（90名参加）を実施し、県内の中小規模病院の看護管理能力向上に貢献した。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化短期大学では、教育プログラム及び就職・進学支援体制の充実により、就職率98.3%、進学率100%となり、いずれも目標の90.0%を大きく上回った。 ・H27年度から進めてきたキャンパス整備がR2年度末に完了。音楽ホールや図書館を新築したほか、芸術デザイン棟などを改修するなどして学生を引きつけるキャンパスに生まれ変わった。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名（2年度事業）	事務事業評価	
		成果指標の達成率（%）	掲載頁
①	大学等連携活性化事業	98.8	324
②	公立大学法人運営費交付金（看護科学大学）	100.0	324
③	公立大学法人運営費交付金（芸術文化短期大学）	105.0	324

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○R2年度第1回大分県地方独立行政法人評価委員会(R2.8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業生の幅広い活躍と連携や、実際の生活現場と連携した予防的家庭訪問実習の効果が県内での持続可能な地域再生へ貢献している。 ・今後、新型コロナウイルスをはじめとするさまざまな感染症と否が応でも共生していかなければならない社会になっていく。地域での保健医療ニーズの増大に応えるためにも、更なる教育研究のレベルを高め、地域への貢献を果たしてほしい。 	<p>○R2年度第1回大分県地方独立行政法人評価委員会(R2.8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アートマネジメントプログラム」など特色あるカリキュラム編成は魅力。芸術文化ゾーン等と連携した実践的教育を更に充実させて地域の発展に貢献してほしい。 ・18歳人口の減少により、多くの大学が志願者減を課題とする中、教育の充実・地域社会貢献によりオープンキャンパスの参加増や志願者増につながっていることは客観的な社会的評価として着目すべき点。
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・県内12の大学等、行政、経済団体等で設立した「おおいた地域連携プラットフォーム」が産学官連携で進める地域課題解決に向けた取り組みを支援する。 ・看護科学大学では、専門性と豊かな人間性、実践能力を備えた看護職の育成や社会的な課題解決につながる研究成果の創出のため、教育・研究内容や施設設備の充実を図る。また、地域での保健医療ニーズの増大に応えるため、NP（診療看護師）の養成に加え、保健師養成枠の拡大に取り組むなど、地域に根ざした魅力ある大学づくりを推進する。 ・芸術文化短期大学では、県立美術館、県立総合文化センター、自治体など関係団体と連携し、県民の芸術文化の向上に取り組むほか、地域の様々なプロジェクトへの参加を通じ、地域創生人材を育成する。また、R2年度末に完成した新キャンパスを活用して、地域に開かれた魅力ある大学づくりを推進する。